

視点を変えてみたら、との思いで、生きもののお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○ ④5 いろいろいるもんだ

随分長い間、ほぼ放置状態になってしまっていた小さな庭。いつの間にか気付いたら、1本の木が庭全体を木陰にしていた。鳥が運んだ種子が、ここまで成長したということなのだろう。イボタノキに似ているがちょっと違う感じ。正体不明だ。その木陰のお陰で地面の草はあまり成長していない。それにしても、そこにはいろんな生きものがいる。

6月末の梅雨の頃、カニをよく見かけた。写真を撮ってみると甲羅に“にこちゃんマーク？”があった。アカテガニか？近くに川や海があるので、そこに行く途中なのかかもしれない。その他、お尻の方にピンと尻尾の様なものを立てているイモムシ。キイロスズメの幼虫。

熱心にヤマノイモの葉を食べ続けていた。調べなかったが黄緑色でスズメガの仲間と思われる幼虫もいた。また、ふと気がつくと鉢植えにしていた小さなバジルに、なんと3匹のオンブバッタ。あっという間に葉を食べ尽した。他にも、アゲハチョウはよく見かけるし、ウスバキトンボが羽を休めていたこともある。

日当たりを良くするため謎の木は選定したが、陽当たりが良くなったら良くなったで、また、植物たちの色んな攻防が繰り上げられるのでしょう。この小さくてささやかな土の有る場所で。<さんじゃく>



アカテガニ？



キイロスズメの幼虫



オンブバッタ3匹



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 092-844-4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 100★

春日公園で、生きものを昆虫、樹木や野草を
ゆっくりと観察します。

★日時 9月21日(土)

集合10時～解散12時半頃

★場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160〔田村の携帯〕

9 / 15 日 (日) 10 / 20 (日) 天拝山探鳥会 (筑紫野市) 時 間：8:00~11:00 (夏時間) (10月からは 9:00~12:00) 集 合：天拝山歴史自然公園 問合せ：090-7165-5026 (重松)	9 / 22 (日) 10 / 27 (日) 久末ダム探鳥会 (福津市) 時 間：9:00~12:00 集 合：久末ダム多目的広場横 駐車場 (管理事務所下) 問合せ：0940-33-7846 (高原和幸)	10 / 6 (日) 今津探鳥会 (福岡市西区) 時 間：9:00~12:00 (夏時間) 集 合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005 (神園道男)
10 / 12 (土) 大濠公園探鳥会 (福岡市中央区) 時 間：9:00~12:00 集 合：ボート乗り場前 問合せ：092-573-1827 (森健児)	10 / 13 (日) 和白海岸探鳥会 (福岡市東区) 時 間：9:00~12:00 集 合：JR 和白駅前の公園 問合せ：092-606-0012 (山本廣子)	10 / 1 (火) 県営春日公園 (春日市) 時 間：10:00~12:00 集 合：音楽堂ステージ側 (第5P) 問合せ：092-592-3423 (小野仁)

日本野鳥の会 筑後支部

福岡植物友の会

9 / 22 (日) 濃施山公園 (大牟田市) 時 間：9:00~12:00 集 合：公園内すいせん橋 問合せ：0944-58-1672 (野田達行)
--

9 / 26 (木) 生の松原 (福岡市西区)「3 回目」 問合せ：佃 昇 (092-662-2983) 要予約 参加は有料 詳細はお問合せ下さい
--

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

10 / 5 (第1土曜日) 自然観察会 (植物・昆虫・野鳥など) 集 合：九州歴史資料館駐車場 時 間：9:30~12:30 問合せ：092-920-3072 参加費：大人 200 円 参加された方には新しい「自然観察マップ」も差し上げます。 ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で 検索 観察会や様々な生きもの情報を載せています
--



ヒロヘリアオイラガを襲うハラビロカマキリ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会 主催 / 福岡市東区

9 / 28 (土) 定例会議 時 間：10:30~13:00 集 合：和白干潟を守る会事務所 問合せ：092-606-0012 (山本廣子)	9 / 28 (土) クリーン作戦 と自然観察会 時 間：15:00~ 集 合：海の広場 駐車場なし 長靴・軍手があると便利 問合せ：090-1346-0460 (田辺スミ子)
--	--

ササキリ 三国・松永

2019年8月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、8月1日（旧暦7月1日）～8月31日（旧暦8月2日）までのデジカメ日誌です。



8月1日(旧暦7月1日) 新潟県糸魚川市根知
糸静線断層露頭である。南側から北に向かって撮影しているが、この奥9Kmほど先は日本海である。西側(左)の灰色がかった部分が3～4億年前の古い岩石で、東側(右)の赤っぽい部分が1600万年前の新しい岩石で、フオッサマグナの西端に当たるようだ。日本海と日本列島がどうやってできたか？ 壮大なドラマ・・・



8月3日(旧暦7月3日) 岐阜県中津川市馬籠
藤村記念館の庭で見かけた。調べてみるとワタノメイガによく似ているが、上翅に黒い■部分があり、個体変異かどうか？である。



8月7日(旧暦7月7日)福岡市東区海の中道海浜公園
塩屋崎に咲くハマゴウの花。葉っぱをこすって匂いを嗅ぐ。独特の香りがある。「浜香」と書き、昔は線香にも使ったという。



8月1日(旧暦7月1日) 新潟県糸魚川市根知
フオッサマグナパーク近くの JR 大糸線踏切。道を横切って縄が張られ、布で作られた人形などが沢山ぶら下がっている。ここは根知谷の入口で、この地区のあちこちでこれは観られるらしい。「根知のお七夕」。笹の葉さらさだけが、七夕まつりではないようです。



8月2日(旧暦7月2日) 長野県白馬村神城
ヒマラヤ4000mに自生する青いケシである。とは言ってもここは大糸線神城駅からバスとケーブルを乗り継いで10分で標高1515mの白馬五竜高山植物園。五竜岳の尾根に、自然に近い形で作られている。自然環境に影響はないのだろうか。



8月24日(旧暦7月24日) 福岡市博多区崇福寺
地蔵盆の日、墓地で見かけた。この辺りは昔の千代乃松原。白砂がまだたくさん残っている。この環境がある限り、ここへ来れば道しるべ(ハンミョウ)に会える。

くすのき 2019年9月号投稿原稿-本のむし

Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園「自然観察会」報告 2019年8月17日(土) 10:00~12:30

天気 晴れ

参加者数 3名

担当者 小野 仁と荒牧源実(ナイス福岡)

テーマ 公園で見かけた生きもの(動物編)しらべ

観察コース:調整池~カスケード~芝生広場~日本風庭園~遊具場

観察内容

- ① 見かけたトンボ: シオカラトンボ、クロスジギンヤンマ、ベニイトトンボ、チョウトンボ
- ② 特に観察したクヌギ
クヌギ、コナラでチョッキリ(昆虫・甲虫・オトシブミの仲間)を確認しました。



水分補給中(チーム・トラトラ)



チョッキリが切り落した枝

- ③ 見かけた野鳥: ハシボソガラス、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、キジバト、ムクドリ
- ④ 見かけたチョウ: クロアゲハ、ナガサキアゲハ、ムラサキシジミ、ヤマトシジミ

感想・チョッキリを始めてみた

- ・切った枝の断面が見事!
- ・殻斗から穴をあけているのが面白い

ドングリ(クヌギ)の断面の端に小さな白い卵が見える⇒



会員からの投稿

● バッタ類に寄生するエントモファガ・グリリ 志賀壮史

かなたけの里公園のせせらぎ沿いで観察会をやっていたら、背の高いイネ科に抱きついた「バッタのミイラ」を発見しました。糸状菌のエントモファガ・グリリが原因。この菌に感染したバッタは草の上の方に登ってしがみついて生き絶えます。孢子をバラまくのに都合がいいから、と解釈されてます。菌にしろ、線虫にしろ、宿主が寄生生物に操作される例ってたくさんあるようですね。もしかしたら私たちも腸内細菌あたりに…?



● ネムノキ情報 渋田和美

携帯なのでわかりにくい写真になりましたが、季節はずれのネムの花が咲いてました。8月25日、久末ダム探鳥会にて。



9/5 福岡市早良区室見川で、やはり、季節はずれのネムの花を見かけました。写真は、その時に撮影。編集部/田村

● 赤い色が鮮やかなトンボ 田村耕作

能古島の山頂(196m)で見かけました。

ショウジョウトンボ♂



資料 9/23 アリの研修会(和白干潟・福岡県)

<自然しらべ2019 アリの見分け方研修会(仮称)>

日本各地で「外来種のアリの侵入と定着」が問題となりつつあります。今回、自然観察指導員を中心とした「地域で自然保護の中核となる人材」に対し、一般的なアリからヒアリまで、アリの見分け方をマスターする研修会を、寺山守先生(理学博士)の指導で開催し、アリをみつめる目を増やします。

開催日時：9月23日(月曜日) 10:30~15:00

開催場所：海のきりえ館(和白干潟を守る会事務所)

講師：寺山守氏(理学博士)

集合：海のきりえ館(和白干潟を守る会事務所) 10:30

参加費：無料(予定)

申込み：要申込 定員20名

雨天時：雨天実施

持ち物：飲み物、弁当、ルーペ(お持ちの方のみ)、筆記用具

共催：和白干潟を守る会

協力：福岡県自然観察指導員連絡協議会



挿絵 会員の木村陽子

主催：公益財団法人日本自然保護協会

※暑さが予想されます。帽子などで紫外線対策などをお願いします。挿絵 会員の木村陽子

<当日のタイムスケジュール>

10:30 海のきりえ館に集合

10:30~12:00 「アリ」についての室内スライドレクチャー、標本レクチャー

12:00~13:30 休憩(昼食)

13:30~14:30 「アリの観察会」、和白干潟などでフィールドレクチャー

14:30~15:00 研修会のまとめ、質疑応答

15:00 終了・解散(海のきりえ館で解散)

お問合せ・申し込み：日本自然保護協会自然保護部萩原

TEL:03-3553-4102 FAX:03-3553-0139 Mail: hagiwara@nacsj.or.jp

:和白干潟を守る会山本 TEL/FAX 092-606-0012 qqt33ptm9@wing.ocn.ne.jp

どう思いますか

福岡市中央区の旧高騰裁判所跡地の入り口に、こんな看板がありました。この看板を参照しつつ、周りを歩きました。見える範囲で、以下の疑問が出てきました。

- ・示された木の名前が違うのではないかな？ ヤツデの場所にはカミヤツデが、チシャノキの場所には桐の木が、エノキの場所にはムクノキが生えていました。
- ・倒木の恐れがあるとあるが、指定された47本が本当に、そうなのか？

都会の中の大切な緑の資源、切るのは容易い。でもこの緑を育てるのは大変な時間がかかる。福岡市の担当者に、もう一度しっかり確認してもらうように、9/6（金）にお願いしました。田村耕作

倒木の恐れのある樹木の撤去のお知らせ

セントラルパーク構想を推進している福岡市からの要請を受け、高等裁判所跡地については、独立行政法人都市再生機構が公園整備を担当しております。

整備範囲内に老木が多数存在し、昨年、倒木も発生したことから、整備に先立ち、樹木医による診断を行った結果、**高木約300本のうち右図の赤色で図示した47本の樹木について腐朽等がみられ、倒木の恐れがあることが判明しました。**

つきましては、**安全性確保のためこれらの樹木の撤去を行います**のでお知らせします。

ご理解、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

【撤去時期(予定)】

2019年9月中旬～

※撤去に際しては、騒音抑制や通行の安全確保等、細心の注意を払ってまいります。



【腐朽の様子】



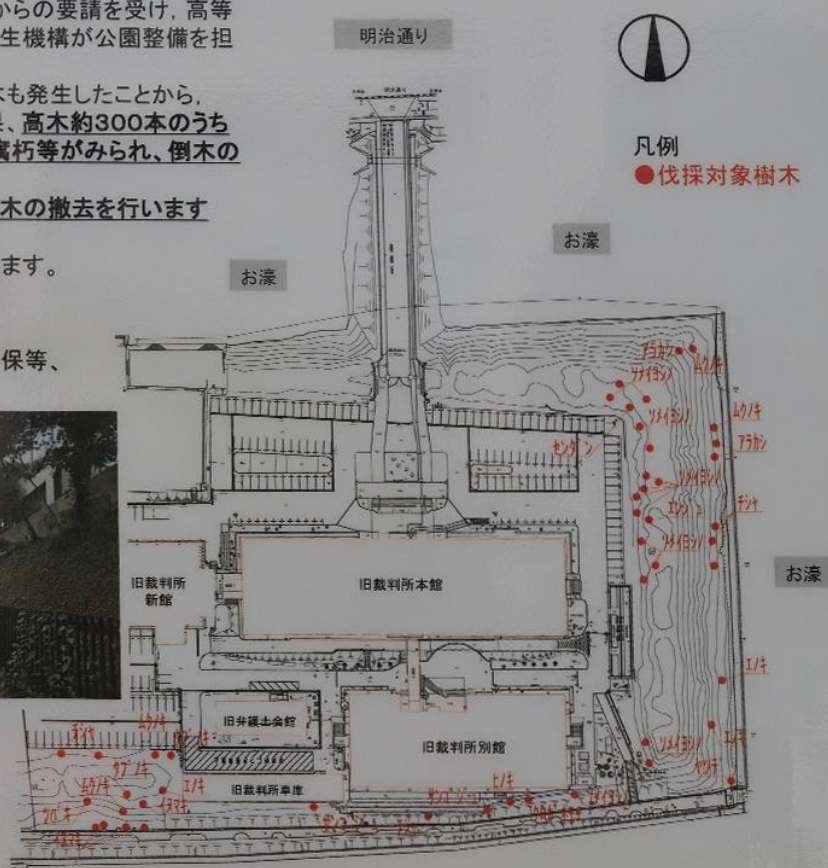
【昨年の倒木】

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人都市再生機構

九州支社 市街地整備第1課 岩田、市川

TEL:092-722-1436



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2019年度会費が、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-1578

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、令和元年10月11日（金）午後6時より事務局で行います。令和元年10月号の原稿は、10/8（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2019年08月の定例発送会は、皆さんの都合で田村耕作のみでした。「暑いですね。」を繰り返した今年の夏、その上、雨と言えば「豪雨」となり、聞きなれない線状降水帯という言葉が、頻繁に聞かれた。漸く秋ですが、穏やかな季節で有って欲しい。

田字草

中央区の舞鶴公園にて
アオビタイトンボ♂（撮影田村）

